

福岡県中学校体育連盟 創立70周年記念

平成30年度 福岡県中学校 柔道大会 要項

主催 福岡県中学校体育連盟 福岡県教育委員会 筑前地区各市町教育委員会
久留米市教育委員会
主管 筑前地区中学校体育連盟
後援 (公財)福岡県体育協会 筑前地区各市町体育協会 福岡県柔道協会
西日本新聞社

1. 大会名 第63回福岡県中学校柔道大会

2. 期 日 平成30年7月29日(日)・7月30日(月)
7月28日(土) <前日練習日> 練習時間 14:00~16:00
体重測定 14:00~16:00
29日(日) <男・女団体戦> 体重測定 8:20~8:50
審判・監督会議 9:00~9:20
開会式 9:30~
競技開始 9:45~
(女子選→男子選→女決勝→男決勝)

※表彰式
※表彰式終了後1時間の練習時間を設ける。同時にこの時間帯で男・女個人戦出場者の体重測定を行う。
30日(月) <男・女個人戦> 体重測定 8:20~8:50
審判・監督会議 9:00~9:20
競技開始 9:30~ (試合順は大会要覧参照)
※表彰式・閉会式
3. 会 場 久留米アリーナ (メインアリーナ) 久留米市東櫛原170-1 ☎ 0942-39-7371

4. 参加制限 地区代表のチームおよび個人とする。
〔団体戦〕
(1) 男子チームの編成は、監督(校長・教員・部活動指導員)1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
女子チームの編成は、監督(校長・教員・部活動指導員)1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
監督は1名・コーチは1名以内とする。
(2) 地区出場校数は、福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前：各6 京築：2 計32校とする。
〔個人戦〕
(1) 男女共に体重別として、男子8階級、女子8階級にわける。地区別出場者数は、各階級とも、福岡、北九州、筑後、筑豊、筑前 各3名 京築1名 計16名とする。
※階級(男子)50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級
(女子)40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級
(2) 監督は1名・コーチは1名以内とする。

5. 競技方法 〔団体戦〕
(1) 参加32チームを4チームずつ8組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位8チームによって決勝トーナメント戦を行う。
(2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
①勝者数の多い学校を勝ちとする。
②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
⑤④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
(3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を上位とする。
④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を上位とする。
⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を上位とする。
⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。

- ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
⑩⑨で同等の場合は、代表戦（1名）により順位決定戦を行う。

〔個人戦〕

- (1) トーナメント方式によって行う。
(2) 得点差が無い場合は、延長戦（ゴールドデンスコア）により勝敗を決する。
(3) 延長戦の勝敗は、改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。（本年3月まで適用していた内容で試合を終了する）

6. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018年施行の新ルール）「少年大会特別規定」及び本大会の申し合わせ事項による。
(2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」または「僅差（指導の差2以上）」とする。個人戦においても「一本」「技有」または「僅差」以上とする。
(3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールドデンスコア）により勝敗を決する。延長戦での勝敗の決定方法は個人戦と同様とする
(4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」}
(5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
(6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門委員会で協議する。
(7) チーム編成（オーダー）は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。また、選手6・7（選手の4）を入れる場合も同じ。（体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする）
①試合は、選手5名（女子3名）の対抗戦とする。
②オーダーの変更は認めない。
③一度退いた選手の再出場は認めない。
④すでに申込みをしている選手が事故のため変更するときは、大会開始前までに、これを認める。（変更届を学校長名（職印）で提出すること。）
※変更の手續きとして、すでに登録してある選手6・7（選手4）からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手6・7（選手4）に再登録をする。但し、最初から選手6・7（選手4）の登録をしていない場合は、その限りではない。
⑤欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。
(8) 柔道衣の色は白色とし、女子の黒帯は、白線入りも可とする。
(9) 柔道着にゼッケンを着用して試合をする。（学校名・名字入り）
①布地は白色とし、サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
②名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
③書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい。）
④文字色は、男子が黒色、女子は濃い赤色とする。
⑤襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
(10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。（全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行）
(11) 団体戦・個人戦出場選手は、指定された期日・時間帯に体重測定を必ず行うこと。また、計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
(12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。

7. 外部指導者

- （コーチ）のベンチ入りについて
(1) 平成30年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者（専門部との確認をする。）
(2) コーチのベンチ入りは男女問わず1校1名とし、ベンチ入り希望者は大会申込用紙に氏名を明記の上、学校1名のみ申し込みを行う。また、大会当日は、本人に限る。
(3) 大会本部発行のIDカードは、大会当日に受取り、大会中は必ず携行すること。
(4) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守って指導にあたる。
(5) その他、監督会議の折に申し合わせた事項を、各学校の責任において指導の徹底を図る。

8. 参加資格

県総体開催基準および「特別規定」による。

9. 参加料

参加選手一人につき1,000円とする。（大会当日の学校受付時に徴収する。）

10. 組合せ

<平成12年度より要項記載なし>
但し、各地区の予選会が全て終了後、各地区の専門委員より公表を行う。

11. 前日練習

会場：久留米アリーナ（豊張り武道場）久留米市東櫛原170-1 ☎0942-39-7371 … 大会要覧参照

12. その他

- (1) 本大会の団体戦優勝校・個人戦各階級1位の者は、全国大会への参加義務を負う。
(2) 本大会への団体戦上位2校・個人戦各階級上位2名は、九州大会への参加義務を負う。
(3) 福岡県中学校体育連盟遵守事項を厳守のこと。